

表 7. 電磁成分及びニュートリノを用いた観測研究.

	原理	観測対象
電磁成分	宇宙線に含まれる電子，陽電子，及びガンマ線の透過距離が，ミューオンと X 線の間程度（数 m～100m）程度(2011 年～）．	・ 桜島において，厚み数十m程度の水平坑道を覆う土壌水分のモニター（絶対重力観測補正） ・ 地滑り斜面
高エネルギーニュートリノ	ICE Cube 計画の中の 1 プロジェクトとして，ニュートリノの地球内部での吸収度計測に参画（ 2008 年～）．	地球内部の密度分布の推定．観測継続中．

